

平成25年下半年期 市の財政状況を公表 予算の82%が支出済み

市民の皆さんに、より一層、市政に対する理解と関心を深めていただくため、市では、定期的に市の財政状況を公表しています。今回は、昨年10月1日から本年3月31日までの半年間の予算の執行と基金、地方債の状況をお知らせします。

財務課（内線352）

8億円を増額補正

昨年度下半期の予算を表1にまとめました。一般会計は11億1,929万円の増額、特別会計は2億0,411万円の増額、企業会計は9,389万円の減額補正を行いました。補正予算の主な内訳は、一般会計では12月に中野方保育園の建設事業に2億7,840万円、市役所駐車場の用地購入に3,766万円、明智町の自主運行バスの購入に3,000万円などを増額しました。3月には、国の経済対策関連事業で、東野の袖畑管作線の整備、道路や橋の安全対策事業、武並小学校のプール改築事業などに4億3,640万円を計上し、次年度の事業を前倒しました。また将来負担の

軽減を図るための市債の繰上償還に8億7,555万円、エッセンター恵那の脱臭炉補修工事に6,013万円の増額をしました。その他、2月の豪雪による雪害対策などの事業で、農業用ハウスなどへの助成、市道や林道の除雪と倒木処理、文化財の修繕などに1億0,600万円を計上しました。

特別会計では、3月に国民健康保険事業特別会計で保険給付費などで2,462万円を増額、介護保険特別会計では保険給付費などで1億2,891万円減額しました。簡易水道事業特別会計と公共下水道事業特別会計では、建設事業費の精算などを行い、合わせて、1億3,252万円の減額でした。

表1 補正予算の状況（3月31日現在）

内訳	補正前の額	補正額	合計
一般会計	290億1,067万円	11億1,929万円	301億2,996万円
特別会計	153億8,245万円	▲2億0,411万円	151億7,834万円
企業会計	74億5,261万円	▲9,389万円	73億5,872万円
合計	518億4,573万円	8億2,129万円	526億6,702万円

※補正額には昨年度からの繰越明許費を含む。企業会計の予算額は支出予算

市税収入は見込み通り

一般会計の収入の状況を表2に、支出の状況を表3にまとめました。

歳入については、市の税収入や地方交付税などは、見込み通りの収入となりました。地方譲与税や各種交付金、国庫支出金、県支出金、市債などは、ほぼ予算額通り収入できる見込みですが、出納整理期間に収入するため、低い収入率となっています。

歳出については、公債費（借金を返済するお金）や議会費など、主に定期的に決まっています。農林水産業費や土木費、教育費、災害復旧費は、建設事業などを多く行っている関係で、工事費などは完了してから出納整理期間に支払うことが多いことや、翌年度に繰り越すものがあるため、支出率は低くなっています。民生費や衛生費は、国民健康保険や介護保険事業、後期高齢者医療、病院事業など特別会計や企業会計への繰入金を予定していることから、支出率が低くなっています。

表2 一般会計収入の状況

科目	現計予算額	収入済額	収入率
市税	67億5,695	70億5,939	104.5%
地方譲与税	3億0,190	1億9,701	65.3%
利子割交付金	1,530	1,267	82.8%
配当割交付金	1,150	544	47.3%
株式等譲渡所得割交付金	220	0	0.0%
地方消費税交付金	5億1,360	5億1,130	99.6%
ゴルフ場利用税交付金	1億1,330	9,896	87.3%
自動車取得税交付金	9,680	5,121	52.9%
地方特例交付金	2,620	2,531	96.6%
地方交付税	102億3,261	107億2,690	104.8%
交通安全対策特別交付金	580	638	110.1%
分担金及び負担金	3億1,226	2億7,412	87.8%
使用料及び手数料	4億2,218	3億8,873	92.1%
国庫支出金	27億5,077	17億4,848	63.6%
県支出金	19億4,529	10億9,296	56.2%
財産収入	1億0,283	1億1,591	112.7%
寄付金	444	521	117.3%
繰入金	2億9,277	2億6,885	91.8%
繰越金	15億0,024	15億0,024	100.0%
諸収入	6億7,152	6億2,951	93.7%
市債	40億5,150	16億0,640	39.6%
合計	301億2,996	263億2,498	87.4%

表3 一般会計支出の状況

科目	現計予算額	支出済額	支出率
議会費	2億1,211	2億0,236	95.4%
総務費	56億0,025	46億0,342	82.2%
民生費	69億3,372	51億7,218	74.6%
衛生費	32億7,625	19億3,572	59.1%
労働費	5,080	5,080	100.0%
農林水産業費	14億0,952	9億3,355	66.2%
商工費	5億0,701	4億1,013	80.9%
土木費	25億9,211	10億3,623	40.0%
消防費	9億8,049	9億2,834	94.7%
教育費	32億2,515	26億0,767	80.9%
公債費	50億4,335	50億3,491	99.8%
予備費	2,630	0	0.0%
災害復旧費	2億7,290	7,203	26.4%
合計	301億2,996	229億8,734	76.3%

市民1人当たりの市債残高は約101万円

市債（市の借金）と、基金（市の貯金）の状況を表4と表5にまとめました。

市債は、一般会計では、昨年度より約3億8千万円減少し、借入の残高は、354億8,886万円。特別会計、企業会計も合わせると537億6,547万円です。市民1人当たりでは、100万8,222円となります。この借金の返済のうち、およそ7割は地方交付税として国から財源の支援が受けられるため、実際の市の負担はこの3割程度になります。

基金は、一般会計の基金が160億2,524万円、特別会計の基金が6億0,212万円、この他に運用基金と企業会計の基金を合わせると18億8,304万円となり、市民1人当たりでは33万9,097円となります。

詳しくは、市ウェブサイト（<http://www.city.ena.lg.jp/>）でも公表していますのでご覧ください。また決算は、11月に本紙で掲載する予定です。

表4 市債の状況

区分	現在高	市民1人当たり
一般会計	354億8,886万円	66万5,495円
特別会計	146億8,017万円	27万5,286円
企業会計	35億9,644万円	6万7,441円
市債総計	537億6,547万円	100万8,222円

表5 基金の状況

区分	現在高	市民1人当たり
積み立てる基金	166億2,736万円	31万1,800円
一般会計の基金	160億2,524万円	30万0,509円
特別会計の基金	6億0,212万円	1万1,291円
運用する基金	12億8,029万円	2万4,008円
企業会計の基金	1億7,539万円	3,289円
基金総計	180億8,304万円	33万9,097円

※人口は4月1日現在の53,327人を基準。端数処理のため金額が合わない場合があります

一般会計87%収入済み

一般会計では、収入率は87・4%、支出率は76・3%となっています。

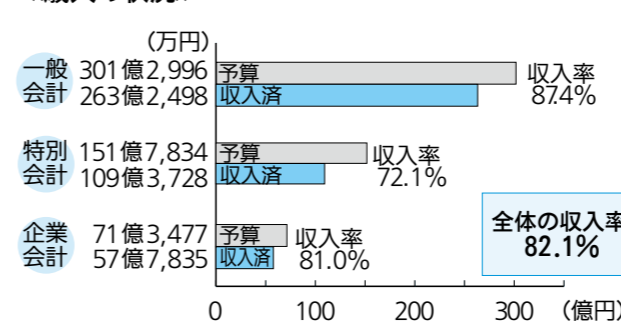
特別会計では、収入率は72・1%、支出率は88・3%となっています。

一般会計と特別会計の予算年度は、4月1日から3月31日までですが、翌年度の5月までを出納整理期間として、旧年度中の支払い、収入を整理する期間としています。終了した工事の支払いなどは、この期間に行います。また収入でも国・県の支出金や、市債は事業の完了後に収入するため、出納整理期間に収入の手続きを行います。

一般の民間企業と同様の経理を行う企業会計では、水道事業会計の施設管理費用などの収益的費用で88・1%、建設工事などの資本的支出で80・0%が支出済みとなっています。

病院事業会計では、医療費用などの収益的費用が92・5%、施設整備などを行う資本的支出が79・0%などで、企業会計全体では90・8%が支出済みとなりました。

《歳入の状況》



《歳出の状況》

